

## 家庭と学校が連携した健全な生徒の育成を目指して



キーワード スマートフォン校内持ち込み / 進路セミナー / 広報誌 / 学校行事

### 取組概要

4つの専門委員会が学校と連携しながら、それぞれの特色ある活動を通して生徒・保護者や地域への支援を行った。特に、近年は健全育成委員会を中心に、緊急事態や登下校時の連絡手段としての携帯電話・スマートフォン校内持ち込みについて、生徒や保護者と意見を交わしながら検討を重ねて導入に至った。

### 取り組みの詳細

#### 【専門委員会の活動】

- 健全育成委員会
  - ・携帯電話・スマートフォン校内持ち込みの導入に向けた生徒や保護者との意見交換及び学校と共に行ったルールづくり。
  - ・地元のお祭り等における巡視指導を通じた見守り活動。
  - ・体育大会における駐車場の交通整理及び巡視。
- 進路対策委員会
  - ・PTA主催で1年生対象の進路セミナーを開催。地域の警察署・消防署・病院や民間企業など16事業所から講師を招いて講話を実施。
- 調査広報委員会
  - ・PTA広報誌「白帆」を年に3回発行。昨年は「成年年齢引き下げ」について特集記事で解りやすく解説。令和5年5月で第100号の発行。
  - ・文化祭（桐鳳祭）では例年、壁展示「対高神社～絵馬に願いを～」を企画。生徒が自由に夢や願い事を書けるように作りの絵馬を作成した。
- 母親委員会
  - ・文化祭（桐鳳祭）で食品バザー、持久走大会で豚汁の炊き出しを行っている。昨年度は新型コロナウイルスの影響で調理の実施を控えた。
  - ・体育大会では受付業務を担当した。



#### 【スマートフォン校内持ち込みに向けた取り組み】

- ① 緊急事態や登下校時の連絡手段としての携帯電話・スマートフォン校内持ち込みについて生徒総会において生徒が協議。
- ② P T A 健全育成委員会で保護者が協議し、その後保護者アンケートを実施。
- ③ P T A 評議員会において生徒がプレゼンテーションを行い、生徒と保護者の意見交換を実施。
- ④ 学校でSNS等に関する人権教育を実施。
- ⑤ WEB投票を行い承認された後、学校と共にルールづくりを行い導入に至る。

### 成果

- ・インターネットやSNSの使用に関する注意や家庭でのルールづくりについて提案した。
- ・生徒・保護者・教員が意見を交わしながら検討ができた。
- ・学校と連携した取り組みができた。

### 課題や今後の取り組み

- ・生徒減少に伴うPTA活動や組織・会則の見直し。
- ・PTA活動の活性化及び参加者の増加に向けた検討。
- ・保護者や地域の声を汲み取りながら学校と連携した取り組みを目指す。

### その他の取り組み紹介

- ・体育大会やオープンスクール前に学校敷地内の除草作業を実施した。
- ・コロナ禍において、総会をWEB上で実施した。
- ・校種を超えた幼小中高合同のPTA研修大会が対馬市で実施され、情報共有を行い親睦と融和を図った。



## 基礎情報

所在地

長崎県対馬市

全校生徒数

382名

地域の特徴

対馬は朝鮮半島を臨む国境に位置し、古代から大陸からの文化や貿易の窓口で、歴史と自然豊かな島である。南北82kmの細長い島で、面積の9割は森林で、対馬海流の影響を受けた温暖な気候である。国の天然記念物のツシヤマネコをはじめ、対馬でしか見ることのできない動植物が多く生息している。また、世界でも有数の野鳥の観察地になっている。

学校の特徴

明治38年に開校し、創立118年を迎える。普通科と商業科に加え、平成15年から普通科に設置された国際文化交流コースが平成31年には学科に移行し、3学科体制となった。国際文化交流科は全国の公立高校で唯一、韓国語と韓国文化を専門的に学ぶことができる。長崎県の離島留学制度により全国から生徒が集まり、下宿や寄宿舎で生活する。平成27年には長崎県内では初めてユネスコスクールに認定された。

組織構成

会長	1名
副会長	3名
顧問	4名（校長を含む）
理事	5名
専門委員長	4名
（健全育成・進路対策・調査広報・母親）	
評議員	31名（クラス代表）
会計	1名
監査	2名

担当課：長崎県教育庁生涯学習課